



こんな救急事故にも気を付けて



まもなく雪の降る季節を迎えます。冬の季節だからこそ注意したい救急事故をご紹介します。



餅による窒息

冬の季節はお餅を食べる機会が増えるため、こどもや高齢者は特に窒息に注意しましょう。こどもの場合、餅以外にも食べ物や口に入る大きさのものは窒息になる恐れがあるため、周りの大人が注意しましょう。高齢者は嚥む力や飲み込む力の衰えの影響による窒息もあるため注意しましょう。



低体温症

気温が低い環境に長時間いることにより、体から失われる熱が、体が保つ熱を上回ることによって低体温となり意識障害など引き起こすことがあります。低体温症は外だけではなく、暖房による温度調節していない室内でも起こり得ることから重ね着や暖房器具を使用するよう注意しましょう。



雪による転倒

積雪や凍結した路面では転倒するリスクが高くなります。転倒では骨折や頭部の怪我などによる救急搬送が多く発生していることから、転倒予防として、滑りにくい靴を選び、歩幅を小さくして慎重に歩行するよう注意しましょう。



感染症

インフルエンザやノロウイルスが流行する季節です。手洗い・うがい・換気、マスクの着用を徹底しましょう。また感染症の種類によって有効な消毒成分が異なるため、消毒液を購入する際はご注意ください。

郡山地方広域消防組合消防本部

ウェブサイト：予防救急について▶



きゅうきゅうデジタルトランスフォーメーション

救急DX



救急DXが2026年2月本格運用開始

本組合では、救急現場の情報伝達をより迅速かつ正確にするため ICT* を活用した救急 DX*（デジタルトランスフォーメーション）を 2026 年 2 月から本格運用します。

これまで、救急現場から病院への情報は電話で伝えているのが中心でしたが、今後はタブレット端末も併せて用いて傷病者の情報や現場の状況をリアルタイムに病院へ送信します。この結果医師は傷病者が病院に到着する前に詳細な情報を把握でき、病院側の受け入れ準備が円滑になります。

救急車を利用する方法や流れは変わりませんが、搬送先医療機関への連絡や医療機関収容後の医師等による医療の開始がよりスムーズに行われることが期待されます。



*ICT：情報通信技術

(Information and Communication Technology)

*DX：デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を活用して業務やサービスを根本的に変革する取り組みを示します。

*総務省のマイナ救急実証事業とは異なります。

救急電話相談

病院?救急車?迷ったら…



県内のプッシュ回線
携帯電話から▶

#7119

ダイヤル回線・
IP電話から▶

024-524-3020



相談無料 通話料は
利用者負担

看護師等が対応

緊急の場合は 119 番通報!

急な怪我や病気で救急車を呼ぶか迷ったときは#7119で看護師等に相談できます。福島県の統計によると、2024年度は県内で23,367件の相談に対応しました。発熱などの相談のほか、薬や育児についての相談も受け付けています。